



(仮称) Nゲージとガーデンパーク 完成イメージ図

Q

鶴ヶ島駅周辺地区 まちづくり構想

もちだ 持田 やすあき 靖明 議員



A

全てを関連付け、広い感覚で 市政を進めていく

問 「(仮称) Nゲージとガーデンパーク」の進捗について。

答 4月24日に地域住民へ公園整備の概要についての説明会を開催し、計画に賛同する声や前向きな意見などをいただき、地域の方々の関心の高さがうかがえた。現在、株式会社関水金属で公園整備の詳細設計を詰めている。整備工事の完了は、令和6年の春頃を予定している。

問 関水金属の工場見学やNゲージの展示について。

答 工場見学やNゲージの展示は、現在の富士見にある工場と同様なものになり、一般開放についても、常時ということではなく、限定にするなどの検討がされていると伺っている。

問 市における来場者数の見込

みについて。

答 まちづくり構想を策定していく中で検討する。「(仮称) Nゲージとガーデンパーク」を憩いの場にするのか、それとも誘客による活性化を目指していくのか、地域の皆様の意見を第一に考えていく。

問 まちづくりの方向性について。

答 公園や道路などの整備が当該地区のみならず、市全体、市外へと波及するよう構想をまとめる。

Q

コロナ禍での高齢者 対策について

ふじわら 藤原 けんし 建志 議員



A

いつまでも健康でいられる まちづくりを進める

問 地域包括支援センターの現状は。

答 令和3年度の市民からの相談件数は約2400件で前年度と比較して約300件増加した。

問 認知症高齢者の予防策は。

答 認知症予防に効果が期待される「シルバースポーツ」を普及させることとした。

問 独居高齢者の現状と支援は。

答 高齢者実態把握調査を実施し、リスクの高い方やアンケートに未回答の方に個別訪問を行い、必要な支援につなげている。

問 介護予防事業への取組は。

答 自宅で取り組める体操の動画配信や新たに屋外でのストレッチ教室などを実施した。



問 通所型サービス介護の状況は。

答 コロナ禍で利用者は一時的に減少したが、感染症防止対策の徹底等から、増加傾向にある。

問 介護施設等の状況は。

答 市内に新たな施設の開設もあり、入所者は増加している。

問 シルバー人材センターの現状は。

答 令和3年度末時点で会員数は、755人である。

問 老人クラブの現状は。

答 令和4年5月末時点で団体数は27クラブ、会員数は、997人である。